



平成29年12月22日

**広島大学がインド6大学・機関と覚書を締結し、
高度イノベーション人材を養成します**

広島大学とインド6大学・研究機関（インド工科大学デリー校、インド工科大学ムンバイ校、インド技術科学大学シブプール校、ビルラ技術科学大学ピラニ校、インド中央電子工学研究所、インド経営大学院アーメダバード校）は、このたび、革新技术を社会へ実装する高度イノベーション人材を養成するための国際教育プログラム実施協力に関する覚書を締結することとなりました。

インド6大学・機関はいずれも国内トップクラスであり、今後、本学との高度な教育交流・学術交流が期待できます。

この覚書は、文部科学省の平成29年度「大学の世界展開力強化事業～ロシア、インド等との大学間交流形成支援～ タイプA：交流推進プログラム（インド）」に採択された本学プログラム「先端技術を社会実装するイノベーション人材養成のための国際リンケージ型学位プログラム」の実施に関するもので、広島大学とインド6機関が、それぞれが持つ資源や機能等を活用して、学部生から大学院生までの幅広い教育交流プログラムを構築し、日印両国の架け橋となるリーダー人材の養成及び大学間の学術交流を推進するものです。

本学は、学長のイニシアティブの下で、研究・教育の強化、持続可能な発展を導く科学を推進する、新長期ビジョン「SPLENDOR PLAN 2017」を展開しています。インド6機関との連携は、広島大学の国際化を大きく進めるだけでなく、本学の持続可能な発展への寄与の実践、学生や修了生が世界へ羽ばたくきっかけとなるものです。

つきましては、本覚書締結について、下記のとおり調印式を開催いたします。調印式の後には、インド6大学・機関及び本学の教育、研究の世界戦略についてパネルディスカッションを開催いたします。ぜひ取材いただきますよう、ご案内申し上げます。

記

- 【日時】 平成30年1月17日（水）12：50－17：00
（調印式及びパネルディスカッション）
※取材いただく場合は、事前に受付にお越しく下さい。
- 【会場】 広島国際会議場 地下2階大会議室「ダリア」
（広島市中区中島町1番5号）
- 【使用言語】 英語及び日本語（同時通訳）

【お問い合わせ先】

ILDLP事務室 井上・竹原
TEL:082-424-6152 FAX:082-424-6954

広島大学 平成 29 年度 大学の世界展開力強化事業（インド）
先端技術を社会実装するイノベーション人材養成のための
国際リンケージ型学位プログラム
キックオフ会議（第一回 国際会議）

開催日時：2018 年 1 月 17 日（水） 12:50 - 17:00

会 場：広島国際会議場 ダリア

第一部：国際リンケージ型学位プログラム調印式

- 12:50-12:55 開会挨拶 越智 光夫（広島大学学長）
- 12:55-13:20 来賓挨拶
湯崎 英彦（広島県知事）
インド大使館参事（予定）
国際協力機構理事（予定）
進藤 和澄（文部科学省高等教育局高等教育企画課国際企画室 室長）
- 13:20-13:40 世界展開力強化事業について 文部科学省（未定）
- 13:40-14:00 先端技術を社会実装するイノベーション人材養成のための国際リンケージ型
学位プログラム概要説明
プログラムリーダー 藤原 章正（広島大学大学院国際協力研究科 教授）
- 14:00-14:30 調印式

第二部：公開討論：教育と研究のグローバル化への挑戦

- 15:00-15:30 基調講演：インドと日本の科学技術外交の展望
ギリシュ・サーニ（科学産業研究評議会 理事）
- 15:30-16:30 広島大学およびインド 6 大学からの報告：大学の国際戦略と展望
- 16:30-16:55 討論会 モデレーター 金子 慎治（広島大学大学院国際協力研究科 教授）
- 16:55-17:00 閉会挨拶 山本 陽介（広島大学理事・副学長）

ILDP 会議参画大学・研究機関概要

大学名	国際交流 協定（大学 間）締結 年月日	備考
 <p>IIT-D Indian Institute of Technology Delhi インド工科大学デリー校</p>	2014/3/18	1945年のインド工科大学設立構想のもと、1950年にカラグプルに設立された最初の工科大学をはじめとして、インド6地域(ボンベイ、マドラス、カーンプル、デリー、グワハティ、ルールキー)に工科大学が設立された。各工科大学は、インド工科大学協議会の総括のもと、それぞれ法人格、独自の組織を有している。2008年以降、これら7校に加え、ハイデラバード校など8校が加わり、現在は15校がインド工科大学となっている。インドでは、国家的重要な機関として位置づけられており、その研究水準の高さは、世界的に認められている。
<p>QS 世界大学ランキング 172位 QS アジア 41位</p>		
 <p>IIT-B Indian Institute of Technology, Bombay インド工科大学ムンバイ校</p>	2018/1/17 (予定)	インド工科大学ボンベイ校は1958年に設立され、上記のとおり、インド最高学府 IIT16校の一角をなす。現在14の学科があり、約600人の教員と約10,000人の学生で構成されている。
<p>QS 世界大学ランキング 179位 QS アジア 34位</p>		
 <p>IEST-S Indian Institute of Engineering Science and Technology, Shibpur インドシブプール工科大学</p>	2016/11/24	インドで2番目に古い歴史を持つ Engineering College である。革新的な世界水準の技術を発展させ、分野融合の研究環境を創生する世界的な教育研究機関となることを目指している。高等教育及び先進研究機関として機能しており、主要な活動は、知識の創生と普及であり、最新の科学技術を有し、社会のために革新的な技術開発を行う優秀なエンジニア、科学者及び企業家を創出することである。
<p>非 IIT の工学分野 トップ</p>		
 <p>BITS-P Birla Institute of Technology and Science, Pilani ビルラ技術科学大学ピラニ校</p>	2017/12/10	G.D.Birla の支援により人文科学から工学分野を有する高等教育機関として、1964年にはそれまでに設立されたカレッジが統合されたインド随一のトップ私立大学であり、インド国内に3つのキャンパス、国外に1つのキャンパスを持つ。現在15の学科がある。
<p>インド大学ランキング (India Today) (2014) 6位 工学分野 (印国内) 私立大学1位</p>		
 <p>CSIR-CEERI Council for Scientific and Industrial Research , Central Electronics Engineering Research Institute 科学産業研究委員会 中央電子工 学研究所</p>	2015/8/25	ニューデリーにあるインド政府科学技術省科学産業研究局直轄の科学産業研究委員会(CSIR)が統括している38研究機関の中の主要研究施設の1つ。1953年9月に当時のネルー首相によりピラニに設立され、1958年末より、電子工学分野を中心とした本格的な研究開発を開始している。インドにおいて、CSIR-CEERI は電子工学分野における中心的な技術開発拠点として国家的に重要な研究機関として位置づけられている。
<p>インド政府直轄の「CSIR」が統括する 38研究機関の1つで、 国家的に重要な研究機関</p>		
 <p>IIM-A Indian Institute of Management Ahmedabadi インド経営大学院大学アーメダ バード校</p>	2015/10/6	インドに現在ある13の経営大学院のひとつであり、最初に設立されたインド経営大学院大学カルカッタ校から1ヶ月後の1961年12月に設立された2番目に歴史のある起業家リーダーを養成するビジネススクールのひとつである。また、マネジメント分野を中心に、経済学、公共政策を含む学際的な博士号プログラムである The Fellow Programme in Management (FPM)がある。レイ・カーンの設計による美しいキャンパスも有名である。
<p>世界の MBA ランキング (2015) 26位 (アジア : 3位、インド国内 : 1位)</p>		